

電子ミシン ZZ3-B535

取扱説明書

●本書を読んでから製品を使用してください●

本書は、なくさないように注意し、いつでも手にとって
見ることができるようにしてください。

brother

はじめに

この度は本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。



お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧になって、各機能や正しい使い方を充分にご理解のうえ末永くご愛用ください。

また、お読みになった後は保証書とともにお使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品に使われている表示や絵文字は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

その表示や意味は次のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない禁止事項



分解してはいけません



水に濡らしてはいけません



特定しない義務行為



電源プラグを抜いてください



特定しない危険通告



感電の危険があります






火災の危険があります













やけどの危険があります

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

⚠ 警告

 	一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の恐れがあります。
	以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ミシンのそばを離れるとき・ミシンを使用したあと・運転中に停電したとき










⚠ 注意

 	延長コードや分岐コンセントを使用したたこ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。
 	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
 	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店またはブラザーサービスステーションにて修理をお受けください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因となります。
 	直射日光の当たるところや、ストーブやアイロンなどのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0℃～40℃です。 ミシン内部の温度が上がったり、本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

 	スプレー製品などをご使用の部屋ではご使用にならないでください。 スプレーへの引火、または火災の原因となります。
 	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。
 	本機の換気用の穴をふさがないでください。 換気用の穴は、必ず壁から30cm以上離してお使いください。また、換気用の穴 やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。 火災の原因となります。
  	本機の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、本機に水をこぼさないでくだ さい。 万一、内部に水などが入った場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜 いて販売店またはブラザーサービスステーションにご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
  	換気用の穴や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。 高圧部に触れて感電の恐れがあります。 万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店またはブラザーサービ スステーションにご連絡ください。
	本機は必ず取っ手を持って、持ち運びしてください。他の部分を持つとこわれたり、 すべて落としたりして、けがの原因となります。
	本機には取扱説明書に記載されている正規の部品をご使用ください。 けが・故障の原因となります。
 	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。 火災・感電およびけがの原因となります。 指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店またはブラザーサー ビスステーションにご依頼ください。
	取扱説明書に記載されている整備を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。けがまたは感電の原因となります。
	ランプを交換するときは、ガラスの部分が冷えてから行ってください。 やけどの原因となります。
	ミシン操作中は、針の動きに十分注意を払ってください。また、針・プリー・天びんなど すべての動いている部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。

⚠ 注意

	縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。 けがの原因となります。
	曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れてけがの原因となります。
	万一、本機を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店またはブラザーサービスステーションにご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 	万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店またはブラザーサービスステーションにご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
	本機が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。
 	お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様にご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、お子様がけがをしないよう充分注意を払ってください。
	フットコントローラーの上に物を置かないでください。 けが、故障の原因となります。(フットコントローラーは別売りです。)

このミシンは、日本国内向家庭用です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

目次

布地と糸と針の選択早見表	2
ぬい方早見表	2
付属品	3
仕様表	3
各部の名称	4

ぬう前の知識

■ 電源コード	5
■ 模様選択ダイヤル	6
■ プーリー	7
■ 送り歯カバー	7
■ 上糸調子ダイヤル（自動糸調子）	7
■ 押えレバー	7
■ スピードコントロールレバー	8
■ ぬい目の長さ調節ダイヤル	8
■ 返しぬいレバー	8
■ フリーアームにするには	8
■ スタート/ストップスイッチ	9
■ フットコントローラー（別売り）を使用する場合	9

糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き	10
■ 下糸のセット	12
■ 上糸のかけ方	13
■ 糸通し装置の使い方	14
■ 手動で下糸を引き出す場合	15

ぬってみましょう

■ 基本操作	16
■ 糸調子	18
■ 押えの付け替え方	18
■ 片押えの使い方	19
■ まつりぬい押えの使い方	19
■ 裁ち目かがり押えの使い方	20
■ ジグザグ押えを使った飾りぬい	21
■ ボタン穴かがり押えの使い方	22

ミシンを大切に

■ 針の交換	26
■ ランプの交換	27
■ お手入れ	28
■ トラブルチェック	30

布地と糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地			薄地			厚地			のびる布地		ほつれやすい布地			ステッチ糸の場合	
	ブロード	タフタ	ギャバジン フラノ	ローン	ジョーゼット	ポーラ	デニム	コデュロイ	ツイード	トリコット	ジャージ					
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	二用ツット糸		カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60 〜 80	60 〜 80	50 〜 80	60 〜 80	60 〜 80	50 〜 80	40 〜 50	50	50			50 〜 80	50 〜 80	50 〜 80	30	30
針太さ	11~14			9~11			14~16			ゴールド針 11~14		9~14			16~18	

ぬい方早見表

模様の種類	直線		ジグザグ			裁ち目 かがり	ジグザグ 三重ぬい	三重ぬい	シェル タック	スカ ラップ	フェザー	まつりぬい		裁ち目 かがり	直線	ボタン 穴 かがり
模様番号	2	3	4	5	6	9	14	15	8	10	12	7	11	13	3	1
選択模様																
押え記号	J											L		G	I	A
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	パッチワーク	裁ち目がかり	その他	裁ち目がかり (のびる布地)	その他 飾りぬい	その他 ぬい目をしよう 地ぬい・飾りぬい	シェルタック	スカラップ	飾りぬい	まつりぬい (普通地)	まつりぬい (のびる布地)	裁ち目がかり	その他 ピンタック おとしミシン ファスナー付け	ボタン穴 かがり
ぬい目の長さ 調節ダイヤル	★		★		★				★	★		★	★		★	★

★…調節することができます。

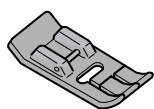
▲ 注意



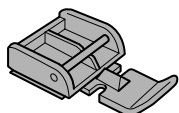
押えは各模様に適した押えを使用してください。押えをまちがえますと、針がぶつかり、折れたり、曲がったりして、けがの原因となります。

付属品 ● 付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。

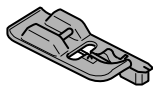
・ 補助テーブル内に付属品が収納されています。



ジグザグ押え <J>



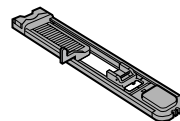
片押え <I>



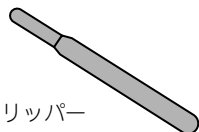
裁ち目かがり <G>



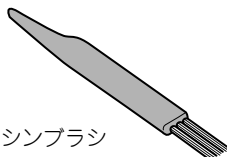
まつりぬい押え <L>



ボタン穴かがり押え <A>



リッパー



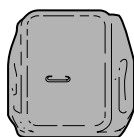
ミシンブラシ



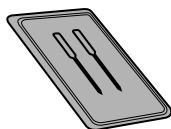
ボビン (4個)

※ ボビンは必ず専用ボビンをご使用
ください。

(補給コード×80309001…5個セット)



送り歯カバー



ミシン針



糸こま押え (大)

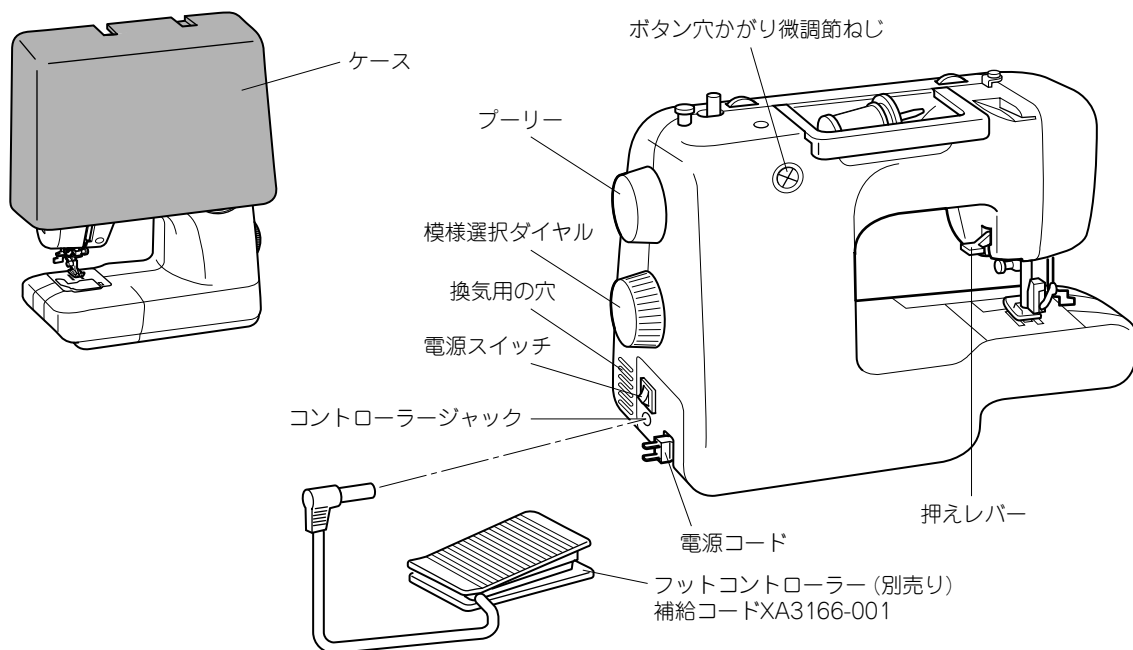
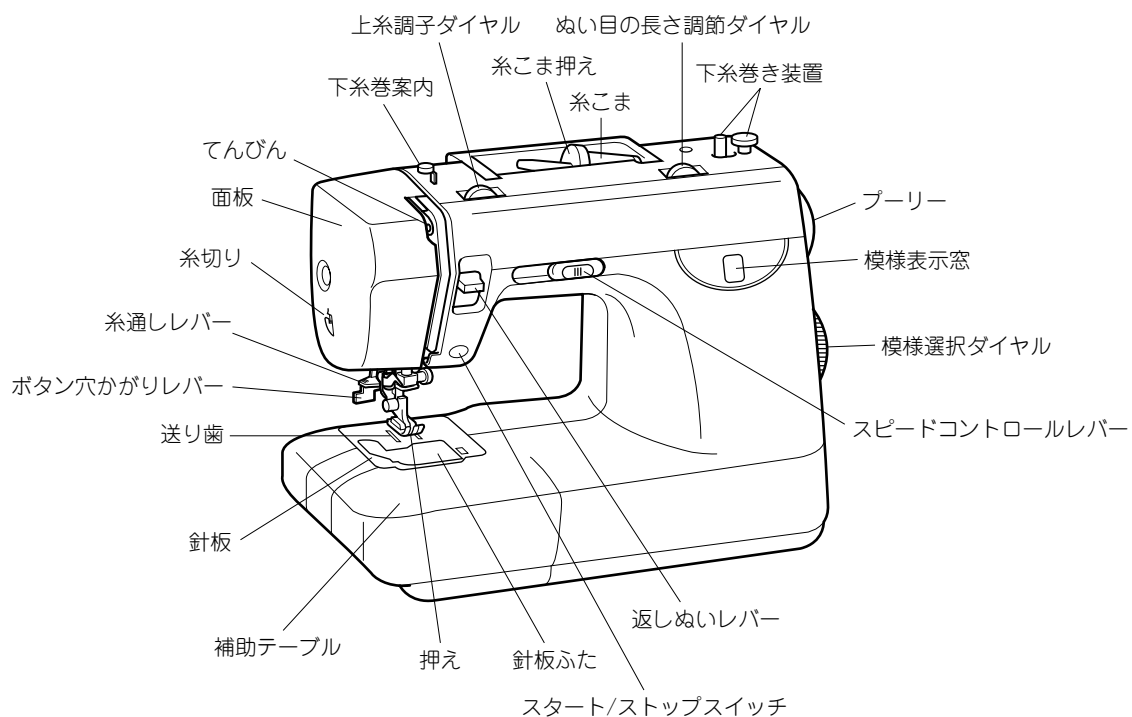
※ 糸こま押え (小) は、ミシンの糸たて
棒についています。糸こまの大きさに
合わせてお使いください。

※ ジグザグ押えは最初にミシンにとりつけてあります。

仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅40.4×高さ27.8×奥行17.8 (cm)
ケースセット寸法	幅43.6×高さ30.2×奥行19.5 (cm)
重量	7 kg (ケース付 8.3 kg)
ぬい速度	毎分70~720針
使用ミシン針	家庭用ミシン針 (HAX1)
定格電圧/消費電力	100V/57W 50/60 Hz
ランプ消費電力	8V/2.4W

各部の名称



※ 取扱説明書上の図は現物と多少異なることがあります。

ぬう前の知識

■ 電源コード

▲ 警告

- ⊘ 一般家庭用電源AC100V電源以外では、絶対に使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。



以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。



- ・ミシンのそばを離れるとき
- ・ミシンを使用したあと
- ・運転中に停電したとき

▲ 注意

延長コードや分岐コンセントを使用したたこ足配線はしないでください。
火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、電源スイッチを切って必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

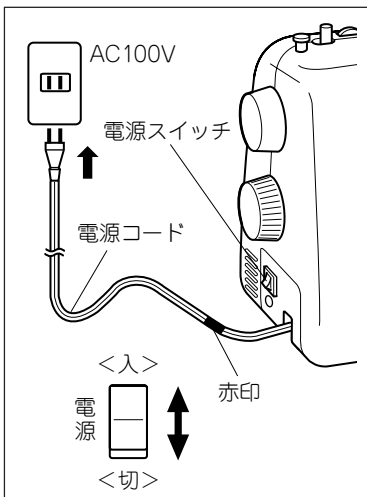


電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードまたは電源プラグが破損したときは、ミシンの使用をやめてお近くの販売店または、ブラザーサービスステーションにて修理をお受けください。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となります。



1. 電源コードを引き出し、プラグをコンセントに差し込んでください。

注記：電源コードは赤い印以上引き出さないでください。

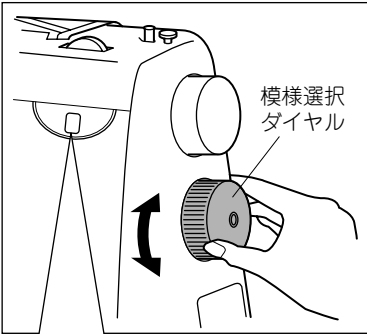
2. 電源スイッチを「入」の方に押してください。
電源が入り、ランプが点灯します。
3. 電源を切るときは、電源スイッチを「切」の方に押してください。
電源コードをしまうときは、少し(1～5cmほど)引っ張ってから電源プラグを持って収納してください。

模様選択ダイヤル

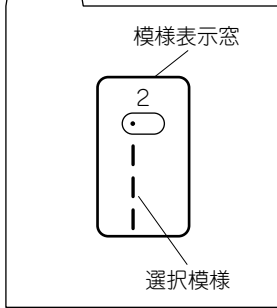
▲ 注意



模様選択ダイヤルは、必ず針が布地から上がっていることを確認してから回してください。針が布地に刺さったまま模様選択しますと、針が曲がったり、折れたりしてけがをする原因となります。



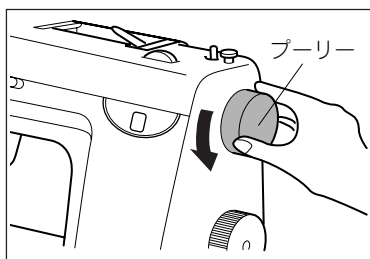
- 模様選択ダイヤルを回して、使用したい模様番号を模様表示窓に表示してください。



模様番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	A	J	J	J	J	J	L	J	J	J	L	J	G	J	J



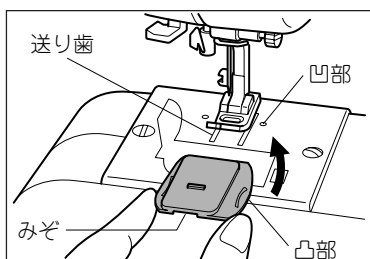
■プーリー



プーリーを回すと、針が上下します。

- プーリーは、必ず手前側に回してください。

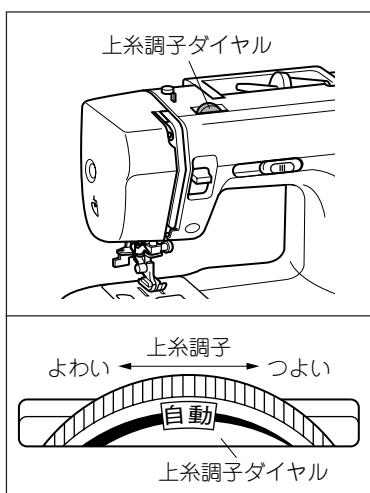
■送り歯カバー



凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。

- ※ ボタン付けなどのときに使ってください。

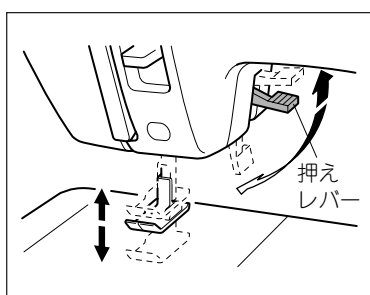
■上糸調子ダイヤル (自動糸調子)



※ 通常は、上糸調子ダイヤルを「自動」の位置に合わせて、適した糸調子とれるようにセットされています。

布や糸の種類によっては、お好みにより上糸調子ダイヤルを回して糸調子を調節してください。

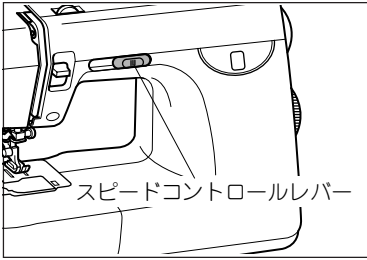
■押えレバー



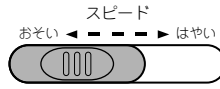
レバーを下げると押えが下がり、布地を押えます。

厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。

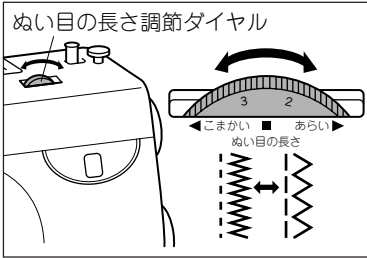
■ スピードコントロールレバー



※ 初心者の方はミシンになれるまで“おそい”でお使いください。



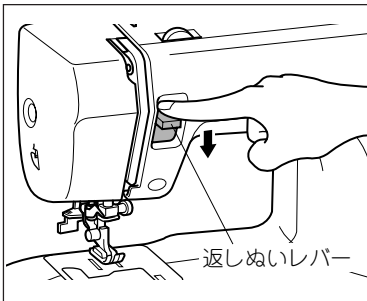
■ ぬい目の長さ調節ダイヤル



1針1針のぬい目の長さを変化させることができます。

● 選んだ模様によっては調節できません。(P2 ぬい方早見表参照)

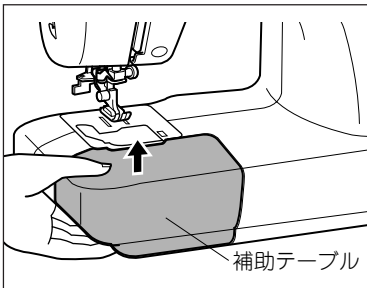
■ 返しぬいレバー



レバーを下げている間は返しぬいを低速で行います。

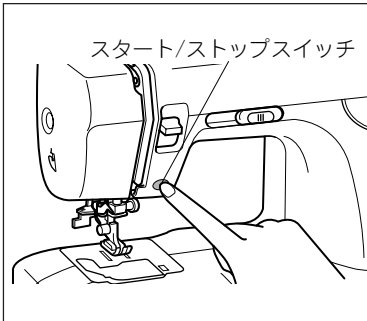
● 下糸巻き軸が、下糸巻きの状態になっていると、ミシンは動きません。

■ フリーアームにするには



筒物ぬいのはきは、補助テーブルを上へ上げ、取り外しますと、フリーアームになります。

■ スタート/ストップスイッチ



スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

- スイッチを押している間は、低速でぬいます。
- ミシンを停止させると、針は上で止まります。

■ フットコントローラー（別売り）を使用する場合

▲ 注意



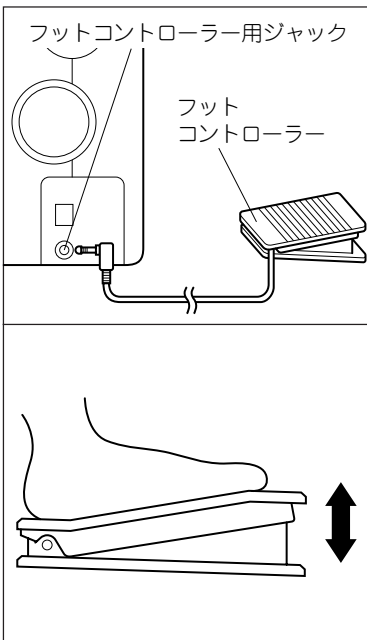
フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。

火災・感電の原因となります。



フットコントローラーの上に物を置かないでください。

けが、故障の原因となります。



1. 電源スイッチを切って、フットコントローラーのプラグをジャックに差し込んでください。

2. 電源スイッチを入れ、フットコントローラーをゆっくり踏み込んでください。ミシンが動きます。

※ ミシン本体のスピードコントロールレバーで最高速度を調節することができます。

3. 踏み込みをやめるとミシンは止まります。

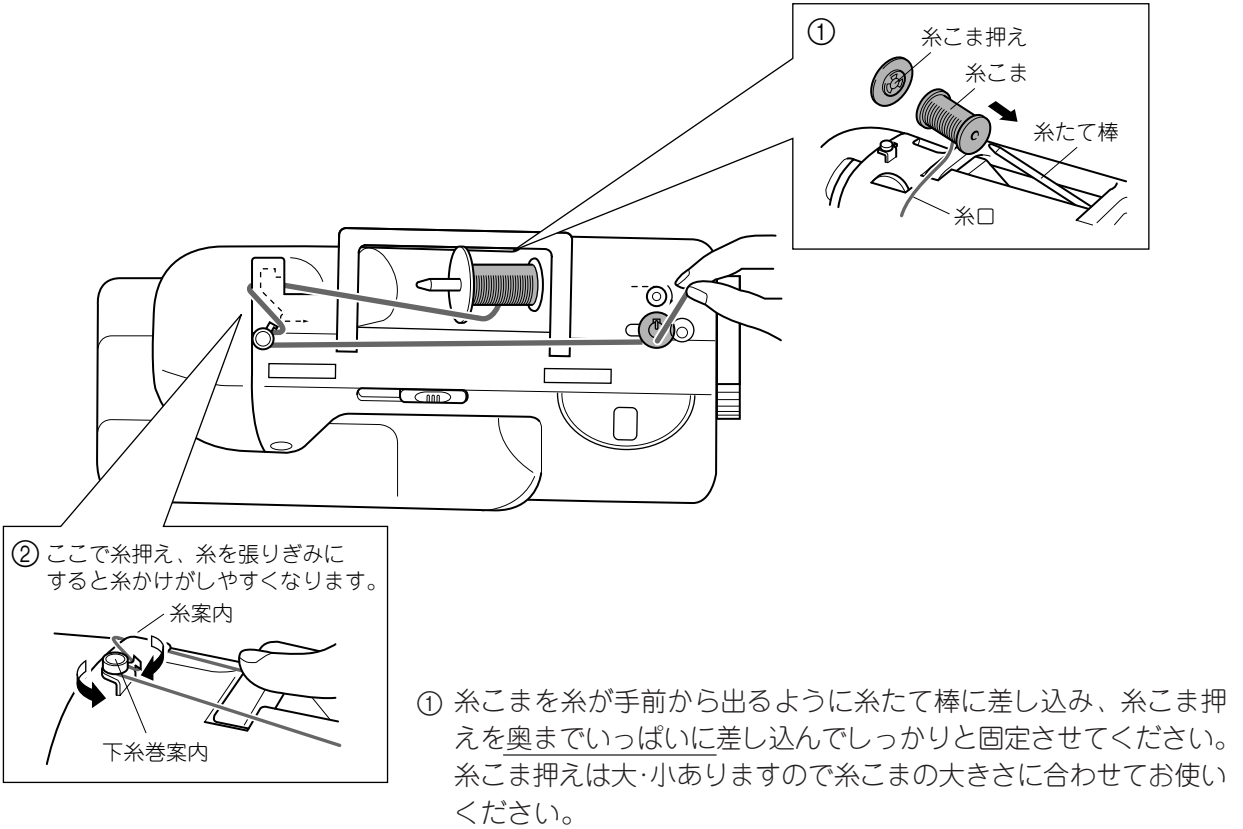
※ フットコントローラー使用時はスタート/ストップスイッチは使用できません。

糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き

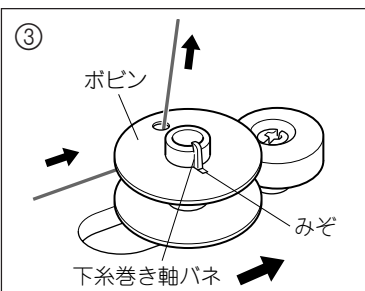
▲ 注意

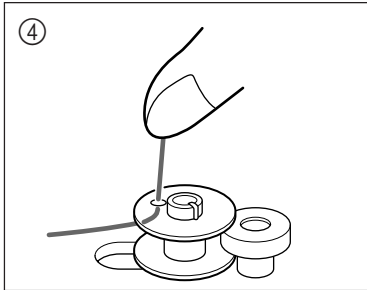
❗ 必ず専用ボビン(X80309-001)をご使用ください。けが、故障の原因となります。



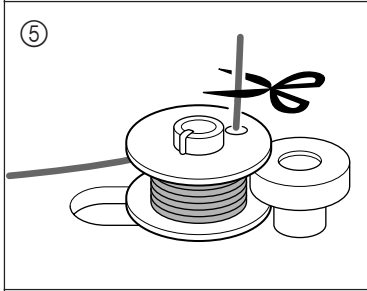
注記：糸こまの向き、糸こま押えを正確にセットしないと糸たて棒に糸がからまる恐れがあります。

② 矢印にそって糸案内、下糸巻案内に糸をかけてください。

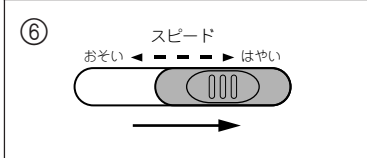




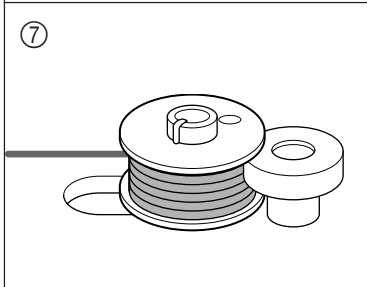
④ 糸端を持ってスタート/ストップスイッチを押して、少し巻いたらミシンをいったん止めてください。



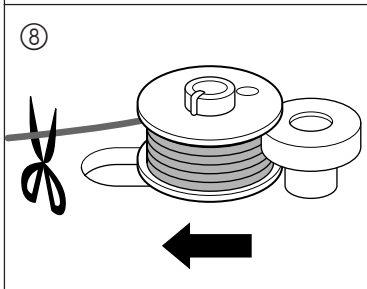
⑤ 糸端を切ってください。



⑥ スピードコントロールレバーを<はやい>の方にスライドさせてください。



⑦ 再びスタートしてください。
巻き終わると自動的にボビンの回転は止まります。
巻き終わったらスタート/ストップスイッチを押してミシンを止めてください。



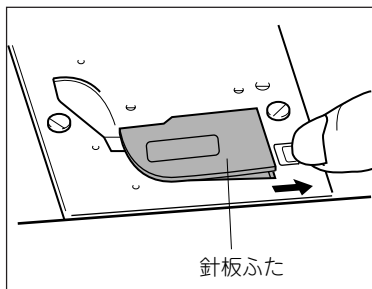
⑧ 糸を切り、ボビンを左側に戻して取り外してください。

⑨ スピードコントロールレバーを<おそい>の方に戻してください。

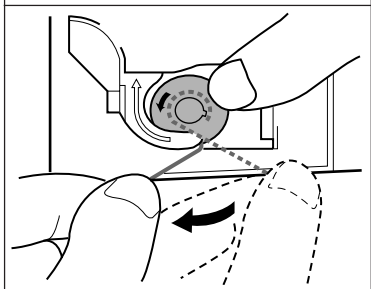
注記：下糸巻きをしたあと、次にミシンを運転するか、またはプーリーを手回しするとき、初めにクラッチのつながる音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。

■ 下糸のセット

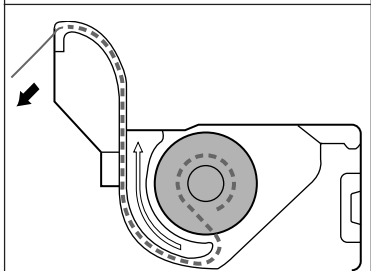
※ 下糸を引き出す必要はありません。



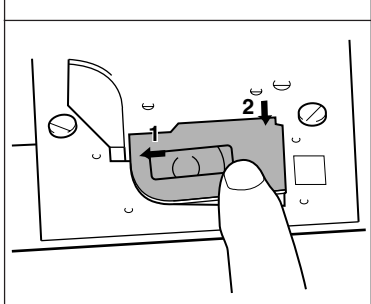
1. 針板ふたの横のつまみを右に押し、針板ふたを外してください。



2. 矢印の向きから糸が出るようにボビンをセットしてください。
※ 専用ボビンをお使いください。

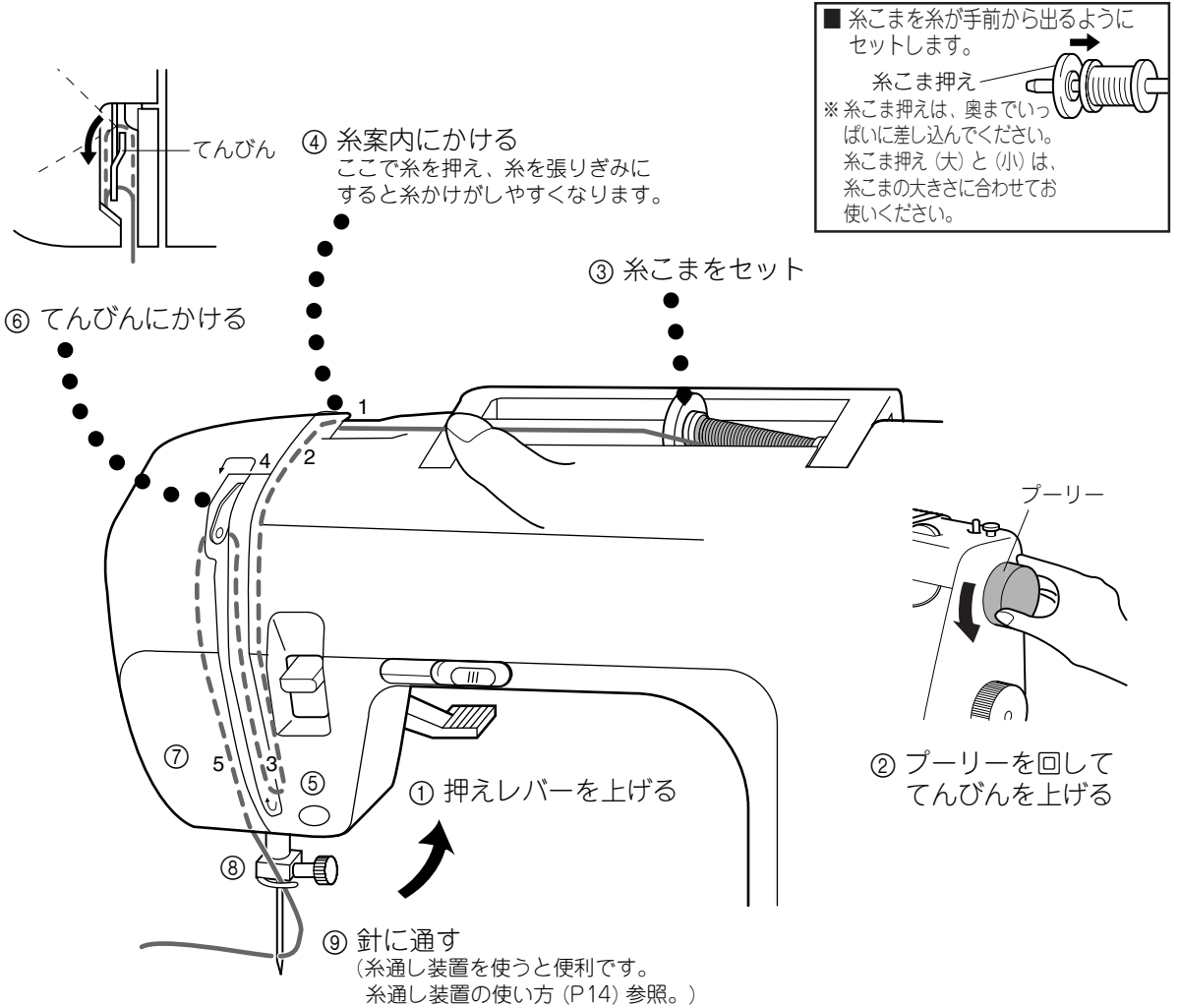


3. 糸端を持ち、みぞにそって通し、手前に引いてください。カッターで糸が切れます。



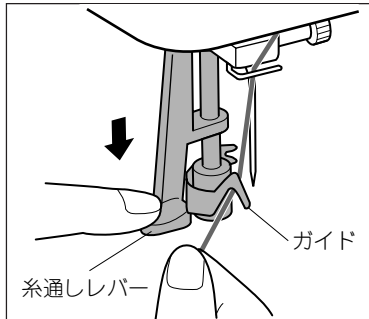
4. 針板ふたをセットします。
※ 下糸を引き上げなくてもそのままぬうことができます。

■ 上糸のかけ方

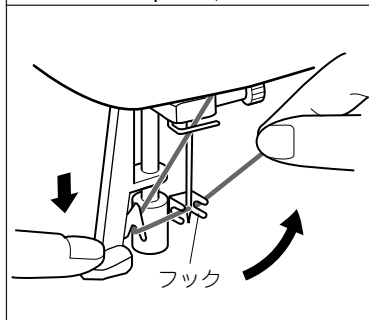


注記：①をしないと⑤のみぞ内部の皿が閉じてしまい、糸が正しく入らず糸がらみの原因となります。

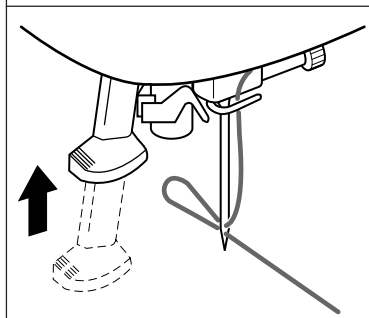
■ 糸通し装置の使い方



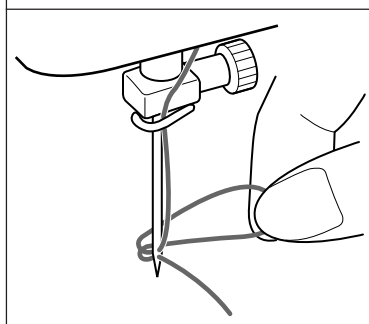
1. プーリーを手前に回して針を上げ、押えレバーを下げてください。
2. 糸を右手で持って左の方にピンと張り糸通しレバーを下げてガイドに糸をかけてください。



3. 糸通しレバーをいっぱい下げ、糸をフックにかけてください。
● 糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。

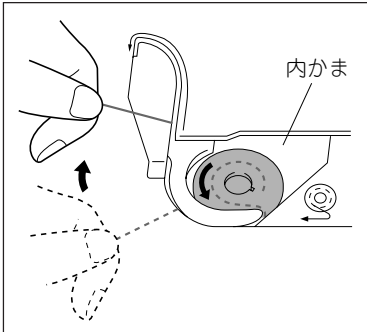


4. 糸をかるく持ちながら糸通しレバーを上げます。
フックが糸を針穴に通します。



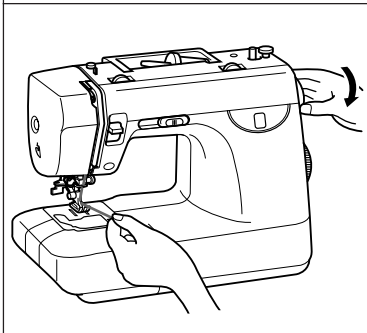
5. 通した糸を後ろ側へ 10cm ほど引き出しておいてください。
※ 無理に引っ張って針を曲げないように注意してください。
● 糸通し装置は針 11～16 番の範囲でご使用ください。なお、針と糸の適正な組み合わせは早見表 (P2) を参照してください。また、ナイロン透明糸は上記に関係なく、針 14～16 番の範囲内でご使用ください。

■ 手動で下糸を引き出す場合

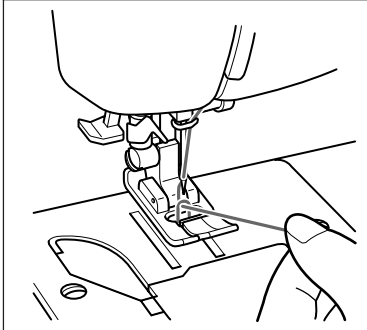


ギャザーやダーツなど、あらかじめ下糸を余分に引き出しておきたいときは、手動で下糸を引き出します。

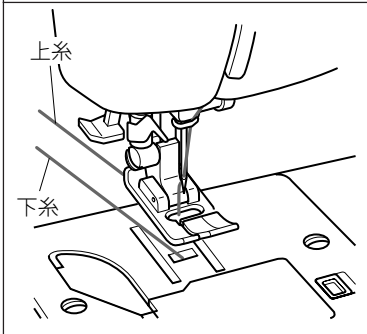
1. 糸を矢印のようにみぞにそって通し、糸は切らずにおいてください。
※ 針板ふたは、はずしたままにしておきます。



2. 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げます。



3. 上糸を引き上げて下糸を引っ張り出します。



4. 上糸・下糸を10cmほど出しておきます。
上糸・下糸を押えの下にして後ろへそろえて出します。
※ 始めのセット状態では、上糸のみ引き出せばぬい始めることができます。

ぬってみましょう

基本操作

▲ 注意

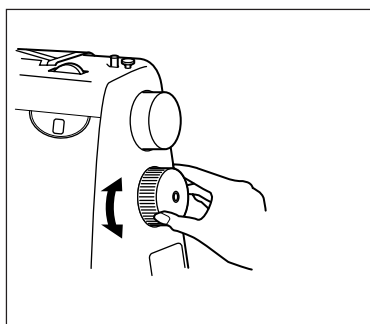
ミシンの操作中は、針の動きに十分注意を払ってください。また、針・プーリー・天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。



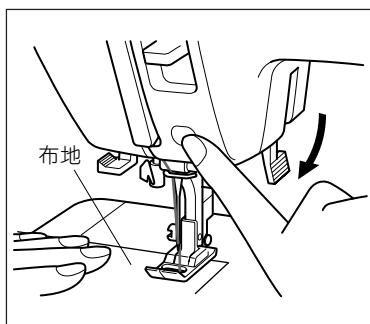
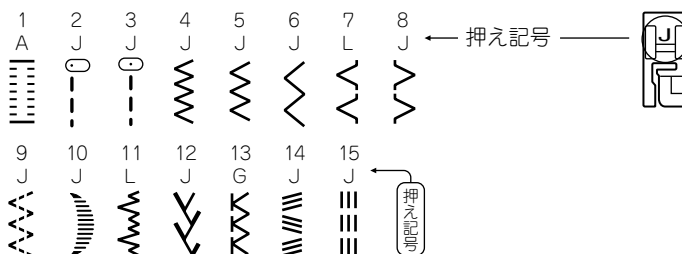
縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押しすぎたりしないでください。けがの原因となります。

曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れてけがをする原因となります。

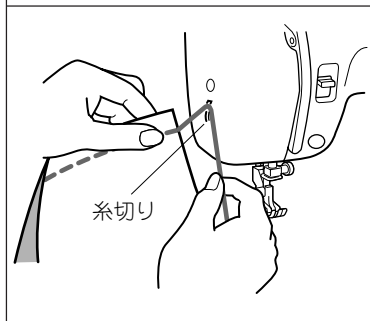
押えは各模様に適した押えを使用してください。押えをまちがえますと、針がぶつかり、折れたり、曲がったりして、けがの原因となります。



1. 模様選択ダイヤルで模様を指定します。
2. 指定した模様に合わせて、押えを付け替えます。
P18「押えの付け替え方」を参照してください。



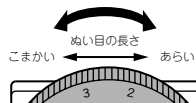
3. 布地を入れ、押えを下げます。
4. スタートします。
 - スタート/ストップスイッチを押し続けると、その間低速でぬきます。
 - 手はかるく布地に添えます。



5. 再びスタート/ストップスイッチを押してストップします。
6. 針が完全に止まったら押えを上げ、糸を切ります。

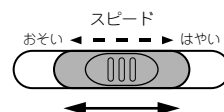
■ ぬい目の長さ調節

選んだ模様によっては、ぬい目の長さは調節できません。



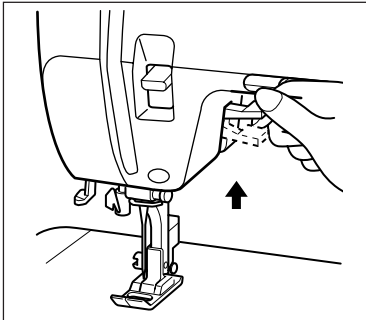
■ スピード調節

ぬっている途中でも調節できます。

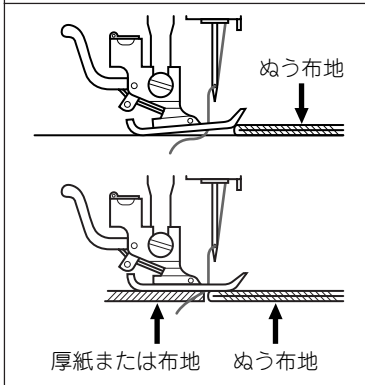


■ ジグザグの振り幅は自動的に設定されますので調節することはできません。

● 厚地のぬい方

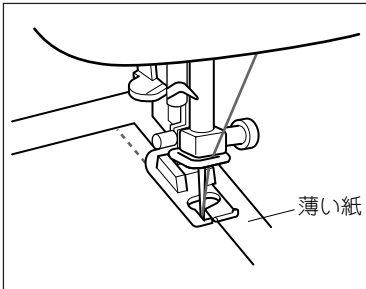


押えレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、布地が入れやすくなります。



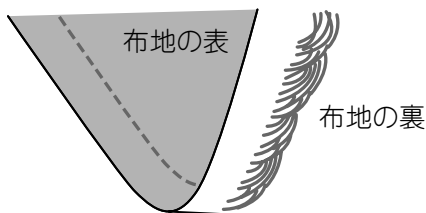
左図のように、押えが傾いて布地がスムーズに送られないときは、使用する布地と同じ厚さの布地または厚紙をおいてぬいます。

● 薄地のぬい方



布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

● 布地の裏側がタオル地のようなときは…

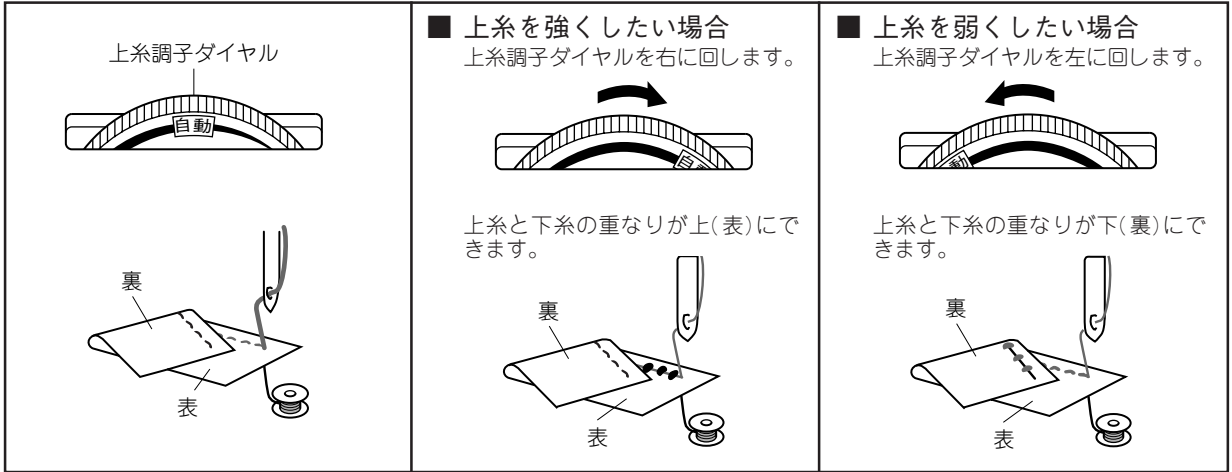


図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなときは、上糸のかけ方P13をごらんの上、正しくかけ直してください。また上糸調子の調節のしかたはP18をごらんください。

糸調子

※ 通常は、上糸調子ダイヤルを「自動」の位置に合わせて、適した糸調子がとれるようにセットされています。
布や糸の種類によっては、お好みにより上糸調子ダイヤルを回して糸調子を調節してください。

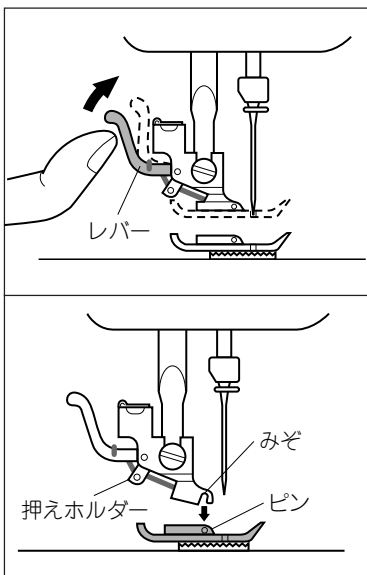
- サテンステッチ、ボタン穴かがりなどぬい目の長さを細かくしてぬう場合は、上糸をやや弱くしたほうがきれいにぬえます。
- ギャザー・シャーリング・シェルタックなどをする場合は、上糸調子ダイヤルで調節します。



押えの付け替え方

▲ 注意

- ❗ 必ず、電源を切って行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してけがの原因となります。



取りはずし方

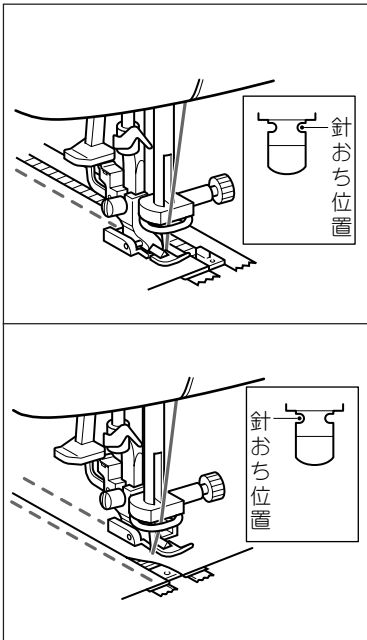
押えを上げ、押えホルダーのレバーを押してください。

取り付け方

押えホルダーのみぞの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げてください。

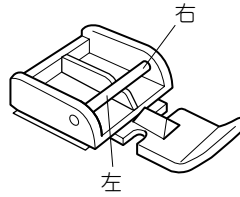
※ 押えは各模様に適した押えを使用してください。
(P2「ぬい方早見表」参照)

■ 片押えの使い方



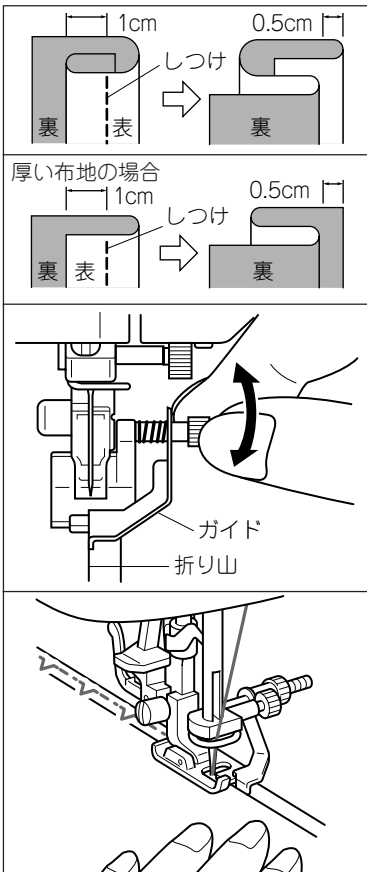
- <1>押えに付け替え、模様番号<3>を指定します。

3
0



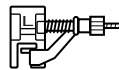
1. 押えの右側を押えホルダーに付け、打ち合わせの下になる方を先にぬってください。
2. 押えの左側に付け替え、打ち合わせの上になる方をぬってください。

■ まつりぬい押えの使い方

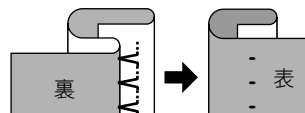


- <L>押えに付け替え、模様番号<7>を指定します。
- のびる布地の場合は、<L>押えに付け替え、模様番号<11>を指定します。

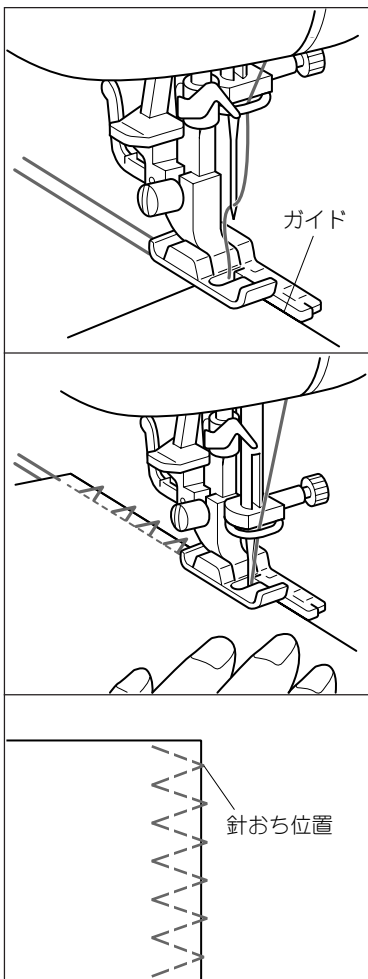
7 11



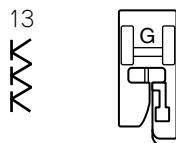
1. 布地を左図のように折ってください。
※ しつけをしっかりとってください。
2. 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットしてください。
3. 折り山に押えのガイドを合わせてください。
※ <L>押えのツマミを回して、折り山に押えのガイドがピッタリあたるように調節してください。
4. ぬい始めたら、折り山が押えのガイドに添うように布地に手を添えてください。
5. 表に返します。



■ 裁ち目かがり押えの使い方



● < G > 押えに付け替え、模様番号 < 13 > を指定します。



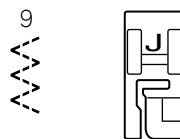
1. 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。
2. ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。

● 裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。

※ 模様番号 < 4 > のときは、< J > 押えを使い、裁ち目かがり押え < G > 押えは使わないでください。

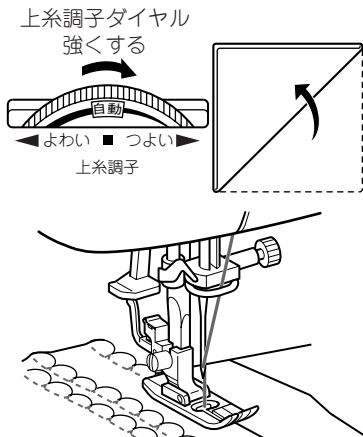
■ のびる布地の場合は
必ず < J > 押えに付け替えてください。

布地は針が布端より
少し外側におちるよ
うにセットします。

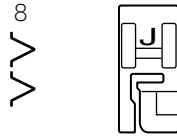


■ ジグザグ押えを使った飾りぬい

- シェルタック ※ 薄い布地を使用してください。

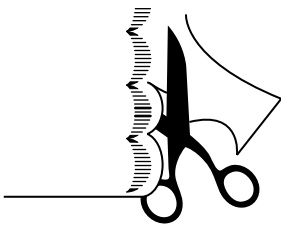


- <J>押えに付け替え、模様番号<8>を指定してください。

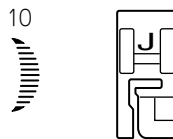


1. 上糸調子を強くしてください。
2. 布地をバイアスに2つに折ってください。
3. 針を布端より少し外側に落としてぬってください。
4. 布地を開きアイロンで折り山を片側に倒してください。

- スカラップステッチ

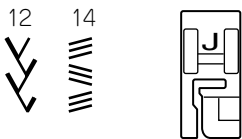


- <J>押えに付け替え、模様番号<10>を指定してください。



1. 模様が布端にかからないように端を残してぬってください。
2. ぬい終わったら、糸を切らないようにぬい目にそって布地を切ってください。

- 飾りぬい



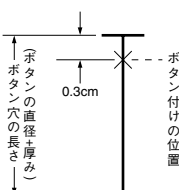
- <J>押えに付け替え、模様番号を指定してください。
 - スモッキング、キルト、すそ飾りなどに用います。

■ ボタン穴かがり押えの使い方

※ ぬうときには、必ずぬうものと同じ布地で試しぬいをしてからぬってください。

■ たてのボタン穴かがり

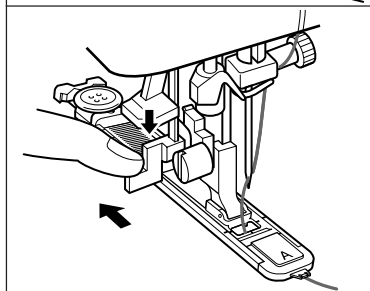
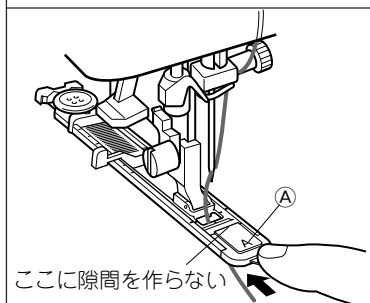
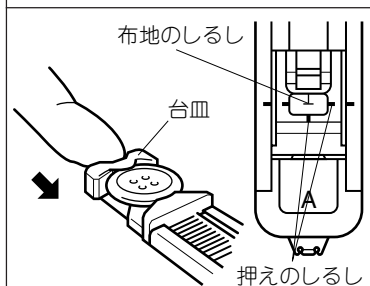
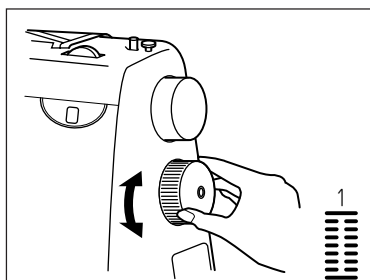
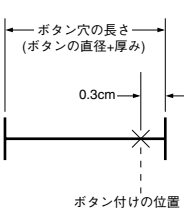
シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。



■ 横のボタン穴かがり

丈夫なので、ほとんどの服に使われます。

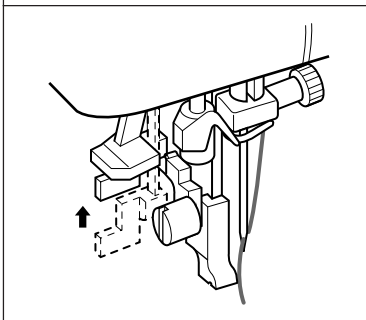
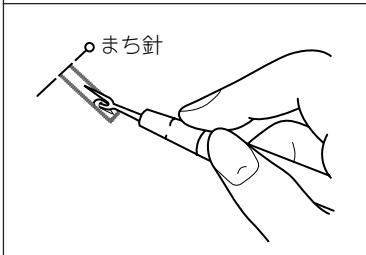
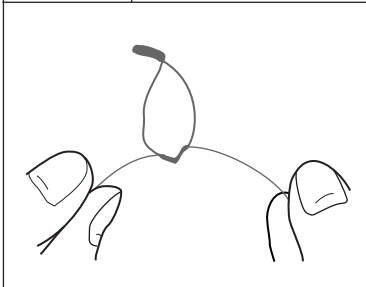
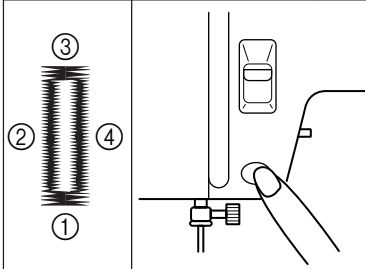
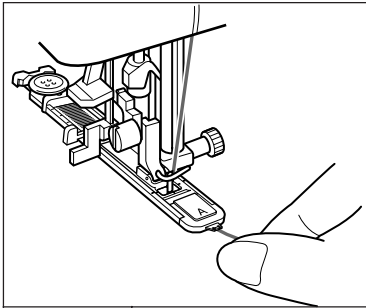
ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。



1. ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつけてください。
2. 模様選択ダイヤル<1>を指定してください。
※ ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F~1>にあわせてぬいますが、布地によってはぬい目調節の必要な場合があります。P25「ボタン穴かがりのぬい目調節」参照してください。
3. <A> 押え(ボタン穴かがり押え)を取り付け、台皿を引き出して、ボタンをのせてはさんでください。
※ 台皿にボタンをはさむことによってボタン穴かがりの大きさが決まります。
4. 押えの赤いしるしに布地のしるしを合わせて、押えを下げてください。そのとき、糸は押えの下に通し、手前に出しておいてください。

注記：押えのAの部分に向こう側に押しつけて隙間がないようにしてください。
ボタン穴かがりの大きさが正確にぬえなくなります。

5. ボタン穴かがりレバーを下げ、レバーをうしろへかるく押します。



6. 上糸を持ってスタートしてください。
 ※ 布地に手をかるく添えてください。

7. ①②③④の順序で自動的にぬえますので④をぬい終わったらスタート/ストップスイッチを押してストップさせてください。

8. 糸を少し長めに切ります。
 9. ぬい目のほつれを防ぐため、上糸の端を布地裏に引き出し、下糸と結んでおいてください。

10. かんぬきの内側にまち針をうち、リッパーで糸を切らないように切り開いてください。

11. ぬい終わりましたら、ボタン穴かがりレバーを止まるまでいっばいに押し上げて収納しておいてください。

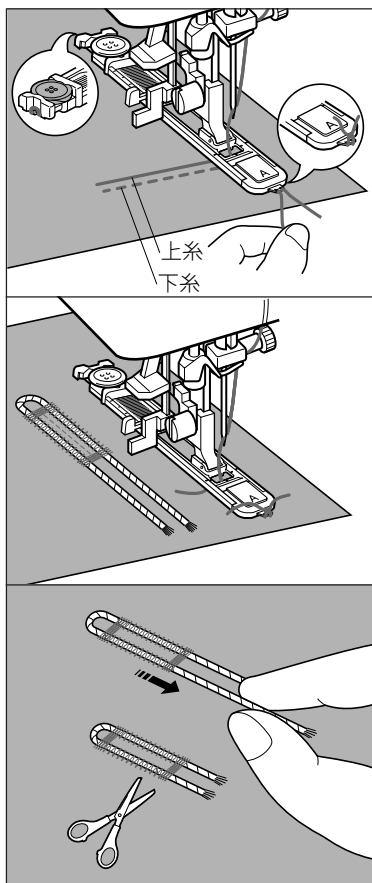
▲ 注意

リッパーで穴を開けるときの、リッパーの先方に手や指を置かないでください。すべったときけがをする原因となります。

ボタンが台皿にのらない場合
 押えスケールの目盛にボタンの直径+厚みの寸法をセットします。
 (例) 直径 1.5cm、厚み 1cmのボタンの場合、スケールを 2.5cm にセットします。

台皿 押えスケール 直径+厚み (2.5cm)

● 伸びる布地にぬうときは



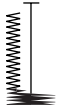
伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。

1. <A>押えの後部のつのに芯ひもをひっかけて押えの下を平行に手前に張ります。芯ひもの端は押えの前部のみぞにはさんでひもを仮り結びしてください。
2. 押えを下げてスタートしてください。
3. ぬい上がったら、芯ひもを引いてたるみをなくし、余分な芯ひもを切ってください。

● ボタン穴かがりを失敗したとき

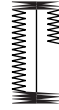
初めからぬい直しますが、失敗した場所により操作がちがいます。

その1



1. 押えを上げて布地を外し、ぬった糸を全部ほどきます。
2. ボタン穴かがり用切換レバーを手前にかるく引きます。
3. 10針ほど空運転させます。
4. 布地をセットし、ボタン穴かがりレバーをうしろへかるく押し、始めからぬいます。

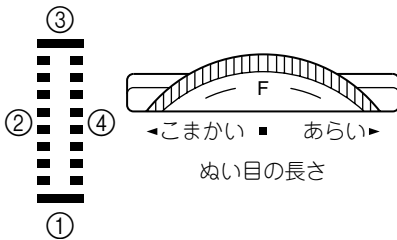
その2



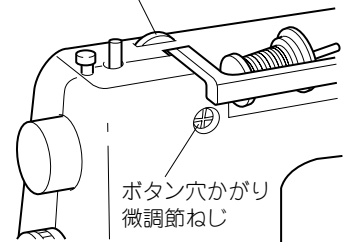
1. 押えを上げて布地を外し、ぬった糸を全部ほどきます。
2. 布地をセットし、ボタン穴かがりレバーをうしろへかるく押し、始めからぬいます。

● ボタン穴かがりのぬい目調節

1. ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F~1>に合わせ、模様<1>をぬいます。

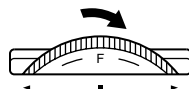
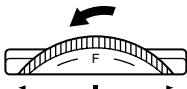
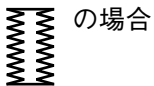


ぬい目の長さ調節ダイヤル



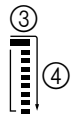
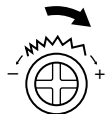
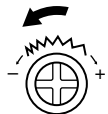
ボタン穴かがり微調節ねじ

2. ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



左側のぬい目は、
ぬい目の長さ調節ダイヤル
で調節します。

3. 左側のぬい目と比べ、ボタン穴かがり微調節ねじを回して調節します。



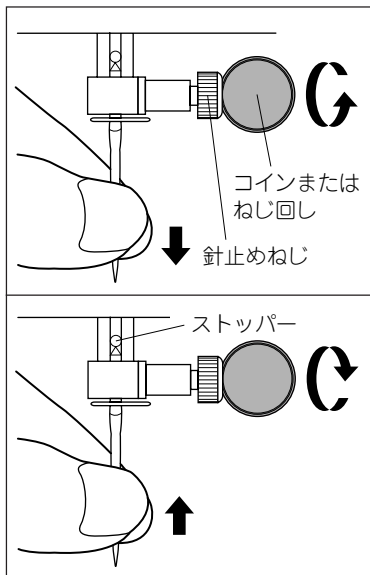
右側のぬい目は、
ボタン穴かがり微調節ねじ
で調節します。

ミシンを大切に

針の交換

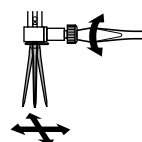
▲ 注意

- ❗ **必ず、電源を切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してけがの原因となります。**
- 🚫 **曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れてけがの原因となります。**

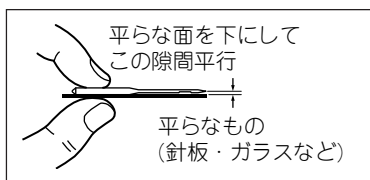


1. 電源を切り、針を上げ、押えを下げてください。
2. 針止めねじをゆるめて針を抜いてください。

注記：針止めねじをゆるめたりしめたりするときは大きな力を加えないでください。故障の原因となります。



3. 新しい針の平らな面をうしろ側にしてストッパーにあたるまで差し込み、針止めねじをしっかりと締めてください。



正しい針の見分け方

平らな物(針板、ガラス板など)に針の平らな面を合わせ、隙間が平行である物をご使用ください。

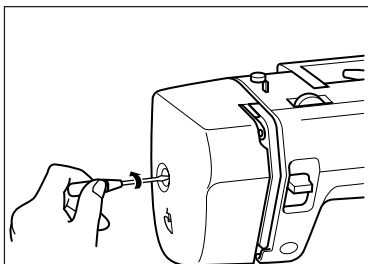
針先が曲がったり、つぶれているものは使用しないでください。針は家庭用ミシン針(HA × 1)をご使用ください。

■ ランプの交換

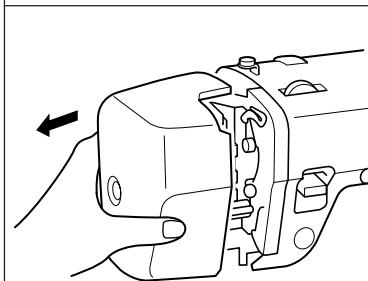
▲ 注意



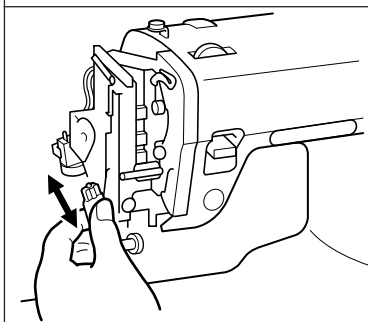
ランプが切れたときの交換はガラス部分が冷えてから行ってください。
やけどの原因となります。



1. 電源を切ってください。
2. 手持ちのドライバーで面板のネジをはずしてください。



3. 面板を取りはずしてください。



4. ランプを引き抜き、新しいランプを取り付けてください。
5. 面板を取り付け、ネジをドライバーでしっかりしめてください。

注記 : ランプは必ず専用のものでご使用ください。他のランプは絶対に使用しないでください。
ランプ(8V、2.4W)は最寄りのプラザー販売店でお買い求めください。
(部品コードX50228-001)

■ お手入れ

● 本体表面の汚れの掃除

▲ 注意



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがまたは感電の原因となります。

本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布に浸し、固くしぼってふきとってください。
汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

注記 : ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
変色や変形の原因となります。

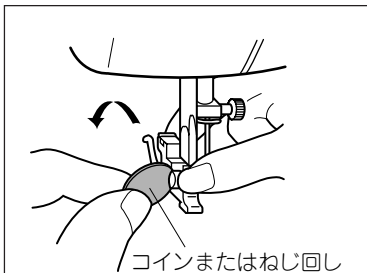
● かまの掃除

ほこりがたまると縫製不良になる場合があります。
いつもきれいにしておきましょう。

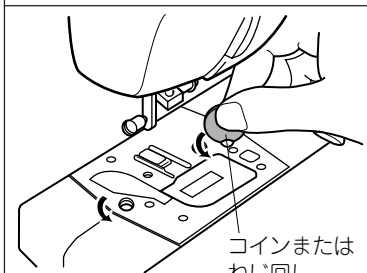
▲ 注意



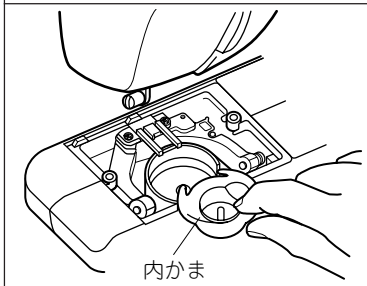
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがまたは感電の原因となります。



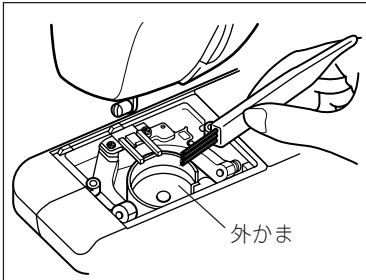
1. 電源スイッチを切り、押えホルダーと針を外してください。



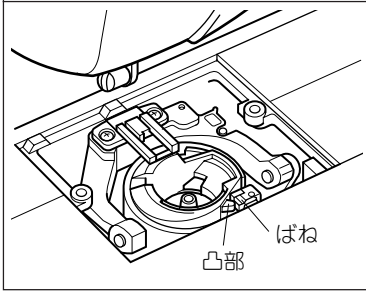
2. 針板を外してください。



3. 内かまを取り出してください。



4. 付属のブラシや掃除機で外かまとその周辺の糸くずを取り除いてください。
※ 内かまには油をささないでください。

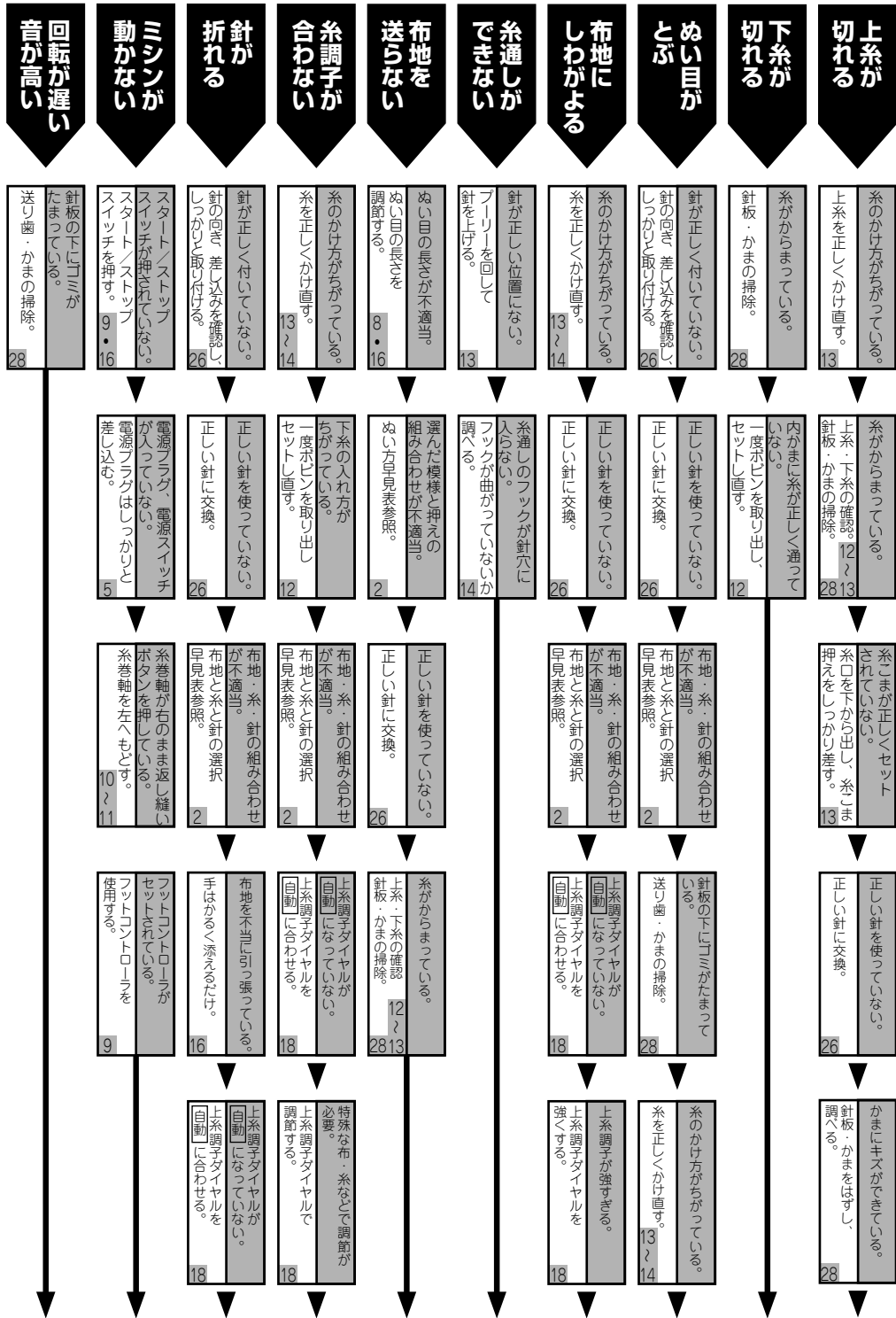


5. 内かまの凸部とばねを合わせて、内かまを取り付けてください。
6. 針板をはめてください。

■ トラブルチェック

※ ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。

左下の数字はページ数です。



● もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのプラザー販売店にお申し付けください。

注記：運転中に停電が発生した場合
 ● 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 ● 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お客様相談室〉へお問い合わせください。

お客様相談室

北海道事業所	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)261-6631	FAX:(011)221-3974
東北事業所	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877	FAX:(022)227-8205
東京事業所	〒104-0031	東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3281-4204	FAX:(03)3274-0546
中部事業所	〒467-0851	名古屋市瑞穂区塩入町1-1-5	TEL:(052)824-3193	FAX:(052)824-6193
関西事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-1-2-2	TEL:(06) 252-1797	FAX:(06) 253-0664
中四国事業所	〒730-0021	広島市中区胡町4-2-8	TEL:(082)240-3762	FAX:(082)240-1478
九州事業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-3-1-2	TEL:(092)431-6566	FAX:(092)481-7268
本社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町1-5-1	TEL:(052)824-3125	FAX:(052)824-3031

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈お客様相談室〉へご連絡ください。

※上記の電話・FAX番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

取扱店

〒467-8561

名古屋市瑞穂区苗代町15-1